



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4612 URL <https://www.nipponpaint-holdings.com/>  
 代表者(役職名) 取締役会長 代表執行役 社長 兼 CEO (氏名) 田中 正明  
 問合せ先責任者(役職名) インベスターリレーション部長 (氏名) 田中 良輔 (TEL) 050-3131-7419  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	162,916	10.6	15,234	△24.3	13,993	△31.3	10,226	△32.2	7,470	△29.9	△50,566	—
2019年12月期第1四半期	147,359	△1.2	20,129	△8.2	20,378	△6.8	15,079	△6.3	10,648	△8.8	21,101	—

  

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	23.29	23.28
2019年12月期第1四半期	33.20	33.20

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,366,697	628,216	496,803	36.4
2019年12月期	1,478,646	687,979	552,922	37.4

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の配当(予想)につきましては、現段階で未定といたします。今後の業績動向をふまえ、予想が可能となった時点で当社の配当政策に基づき、速やかに開示いたします。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	4.0	63,000	△19.3	60,000	△24.5	25,000	△31.9	77.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	325,402,443株	2019年12月期	325,402,443株
-------------	--------------	-----------	--------------

- ② 期末自己株式数

2020年12月期1Q	4,615,378株	2019年12月期	4,635,484株
-------------	------------	-----------	------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	320,777,008株	2019年12月期1Q	320,712,604株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、豪州塗料メーカーDULUXGROUP LIMITED及びトルコ塗料メーカーBETEK BOYA VE KIMYA SANAYI ANONIM SIRKETIを子会社化したことにより、連結売上収益は1,629億16百万円(前年同期比10.6%増)となりました。連結営業利益は、前年同期に日本で保険金収入があった一方、当期は当該収入が無かったことに加え、新型コロナウイルスが各事業へ影響したことにより、152億34百万円(前年同期比24.3%減)となりました。連結税引前四半期利益は139億93百万円(前年同期比31.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は74億70百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 《日本》

当地域では、自動車用塗料については、自動車生産台数が前年同期を下回るなか、売上収益も前年同期を下回りました。工業用塗料の売上収益については、新設住宅着工件数が前年同期を下回ったことに加え、前年に発生した自然災害に伴う減産からの回復の遅延により前年同期を下回りました。汎用塗料の売上収益については、消費税及び新型コロナウイルスの影響により前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上収益は400億81百万円(前年同期比8.6%減)となりました。また、連結営業利益は50億4百万円(前年同期比48.0%減)となりました。連結営業利益には海外グループ会社からの受取配当金18億99百万円(前年同期は15億58百万円)が含まれております。なお、この受取配当金は内部取引であるため、セグメント間取引消去その他の調整額として全額消去されます。

#### 《アジア》

当地域では、自動車用塗料の売上収益については、中国・タイにおいて自動車生産台数が前年同期を下回るなど、市況が低調に推移したことにより、前年同期を下回りました。アジアの主力事業である汎用塗料の売上収益については、新型コロナウイルスの影響に伴い中国、マレーシア、シンガポールをはじめアジア各国の市況が悪化したことにより、前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上収益は623億61百万円(前年同期比24.4%減)、連結営業利益は、69億93百万円(前年同期比39.2%減)となりました。

#### 《オセアニア》

当地域では、2019年9月からのDULUXGROUP LIMITEDの損益を当社グループの連結業績に反映しております。汎用塗料事業においては、新型コロナウイルスへの対策の一環である外出規制に伴い住宅リノベーション需要が発生し好調に推移しました。一方、塗料周辺事業については、軟調な豪州新築住宅市場や森林火災などの影響を受け、低調に推移しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上収益は318億26百万円、連結営業利益は35億2百万円となりました。

#### 《米州》

当地域では、自動車用塗料の売上収益については、中核地域であるアメリカにおいて、新型コロナウイルスの影響に伴い自動車生産台数が低調に推移したことにより、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上収益については、旺盛な住宅需要や好天により、前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上収益は176億45百万円(前年同期比0.7%増)、連結営業利益は8億21百万円(前年同期比30.6%増)となりました。

《その他》

当地域では、2019年7月からのBETEK BOYA VE KIMYA SANAYI ANONIM SIRKETIの損益を当社グループの連結業績に反映しております。自動車用塗料の売上収益については、新型コロナウイルスの影響に伴い域内の自動車生産台数が大幅に減少したことにより、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上収益については、市場の旺盛な需要により好調に推移しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上収益は110億1百万円（前年同期比212.8%増）、連結営業利益は8億6百万円（前年同期は92百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して1,119億48百万円減少し、1兆3,666億97百万円となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して491億30百万円減少しておりますが、主な要因は、営業債務及びその他の債務の決済や借入金の返済などに伴い現金及び現金同等物が減少したことなどによるものです。また、非流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して628億17百万円減少しております。主な要因は、為替変動の影響によるのれん及びその他の無形資産の減少などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して521億86百万円減少し、7,384億81百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務、社債及び借入金の減少などによるものです。

資本につきましては、前連結会計年度末と比較して597億62百万円減少し、6,282億16百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の37.4%から36.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナウイルスへの対応として、各国政府、関係機関のガイドラインに従い、従業員の安全を最優先に考え、事業継続計画（BCP）に基づいた対応を柔軟に進めております。当社グループでは、社会の産業やインフラを支える重要な要素を担っている当社グループ製品をお客様へ継続的に提供する社会的責任を果たしてまいります。

2020年12月期の連結業績予想については、現時点で新型コロナウイルスの影響が地域や業種により異なり、終息時期や最終需要の回復などを合理的に見積もることは困難な状況ですが、現時点で一定の想定（※）を置いて算出しております。なお、今後、世界の新型コロナウイルスの影響次第で連結業績予想を変更する可能性があります。

※日本・アジアは前年比5-10%減、米州は前年比15-25%減

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	147,359	162,916
売上原価	△89,460	△94,869
<b>売上総利益</b>	57,898	68,046
販売費及び一般管理費	△40,007	△52,774
その他の収益	2,588	589
その他の費用	△350	△626
<b>営業利益</b>	20,129	15,234
金融収益	946	964
金融費用	△976	△2,594
持分法による投資利益	278	389
<b>税引前四半期利益</b>	20,378	13,993
法人所得税	△5,298	△3,767
<b>四半期利益</b>	15,079	10,226
<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	10,648	7,470
非支配持分	4,430	2,756
<b>四半期利益</b>	15,079	10,226
<b>1株当たり四半期利益</b>		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.20	23.29
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	33.20	23.28

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
<b>四半期利益</b>	15,079	10,226
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	491	△5,824
確定給付制度の再測定	3	△33
純損益に振り替えられることのない項目合計	495	△5,857
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,516	△54,378
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	88
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	9	△645
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,526	△54,935
<b>その他の包括利益合計</b>	6,022	△60,793
<b>四半期包括利益</b>	21,101	△50,566
<b>四半期包括利益の帰属</b>		
親会社の所有者	14,507	△48,829
非支配持分	6,594	△1,737
<b>四半期包括利益</b>	21,101	△50,566

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	123,300	88,906
棚卸資産	92,860	91,641
営業債権及びその他の債権	212,844	209,875
その他の金融資産	65,158	53,895
その他の流動資産	12,623	13,385
<b>小計</b>	<b>506,787</b>	<b>457,705</b>
売却目的で保有する資産	428	380
<b>流動資産合計</b>	<b>507,216</b>	<b>458,085</b>
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	240,319	232,160
のれん	427,091	400,188
その他の無形資産	230,986	209,852
持分法で会計処理されている投資	12,680	11,647
その他の金融資産	54,381	48,305
その他の非流動資産	2,818	2,453
繰延税金資産	3,151	4,005
<b>非流動資産合計</b>	<b>971,430</b>	<b>908,612</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,478,646</b>	<b>1,366,697</b>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	153,277	129,271
社債及び借入金	384,049	52,382
その他の金融負債	12,470	14,544
未払法人所得税	6,739	5,076
引当金	2,197	2,643
その他の流動負債	39,413	38,228
<b>流動負債合計</b>	<b>598,147</b>	<b>242,146</b>
<b>非流動負債</b>		
社債及び借入金	58,147	371,941
その他の金融負債	44,681	43,246
退職給付に係る負債	24,382	23,278
引当金	900	843
その他の非流動負債	1,847	1,814
繰延税金負債	62,560	55,210
<b>非流動負債合計</b>	<b>192,519</b>	<b>496,335</b>
<b>負債合計</b>	<b>790,667</b>	<b>738,481</b>
<b>資本</b>		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	62,927	62,989
自己株式	△6,378	△6,350
利益剰余金	411,941	411,990
その他の資本の構成要素	5,568	△50,688
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>552,922</b>	<b>496,803</b>
<b>非支配持分</b>	<b>135,056</b>	<b>131,413</b>
<b>資本合計</b>	<b>687,979</b>	<b>628,216</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,478,646</b>	<b>1,366,697</b>

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2019年1月1日残高	78,862	63,247	△6,444	390,287	△5,905	520,047	127,570	647,618
四半期利益	—	—	—	10,648	—	10,648	4,430	15,079
その他の包括利益	—	—	—	—	3,858	3,858	2,164	6,022
四半期包括利益	—	—	—	10,648	3,858	14,507	6,594	21,101
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,376	—	△7,376	△661	△8,038
株式報酬取引	—	—	—	—	8	8	—	8
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1	△1	—	—	—
子会社の増資による持分 の増減	—	—	—	—	—	—	1,600	1,600
その他	—	—	—	—	—	—	9	9
所有者との取引額等合計	—	—	△1	△7,374	6	△7,369	947	△6,422
2019年3月31日残高	78,862	63,247	△6,446	393,562	△2,040	527,185	135,112	662,297

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2020年1月1日残高	78,862	62,927	△6,378	411,941	5,568	552,922	135,056	687,979
四半期利益	—	—	—	7,470	—	7,470	2,756	10,226
その他の包括利益	—	—	—	—	△56,299	△56,299	△4,493	△60,793
四半期包括利益	—	—	—	7,470	△56,299	△48,829	△1,737	△50,566
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	61	27	—	—	89	—	89
配当金	—	—	—	△7,378	—	△7,378	△1,897	△9,275
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△43	43	—	—	—
子会社の増資による持分 の増減	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	△8	△8
所有者との取引額等合計	—	61	27	△7,421	43	△7,289	△1,905	△9,195
2020年3月31日残高	78,862	62,989	△6,350	411,990	△50,688	496,803	131,413	628,216

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	20,378	13,993
減価償却費及び償却費	5,644	7,135
受取利息及び受取配当金	△643	△675
支払利息	837	1,658
持分法による投資損益(△は益)	△278	△389
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)	49	33
棚卸資産の増減額(△は増加)	△137	△3,414
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△11,813	△4,639
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,732	△18,722
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△226	△292
引当金の増減額	83	658
その他	5,169	3,434
<b>小計</b>	<b>17,329</b>	<b>△1,221</b>
利息の受取額	619	787
配当金の受取額	84	869
利息の支払額	△601	△2,092
法人所得税の支払額	△4,025	△6,803
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>13,406</b>	<b>△8,460</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△511	△2,610
有価証券の純増減額(△は増加)	△569	12,538
有形固定資産の取得による支出	△5,258	△6,518
有形固定資産の売却による収入	67	193
無形資産の取得による支出	△426	△504
子会社株式の取得による支出	△1,328	△1,453
子会社株式の売却による支出	△57	—
貸付けによる支出	△5,779	△20
貸付金の回収による収入	—	134
その他	△223	325
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△14,086</b>	<b>2,083</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,536	△322,163
長期借入れによる収入	—	321,762
長期借入金の返済による支出	△11,471	△13,067
リース負債の返済による支出	△1,350	△2,398
株式の発行による収入	1,600	—
配当金の支払額	△7,376	△7,378
非支配持分への配当金の支払額	△448	△153
その他	△0	284
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△9,511</b>	<b>△23,114</b>
<b>現金及び現金同等物に係る為替変動による影響</b>	<b>778</b>	<b>△4,901</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△9,413</b>	<b>△34,393</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>129,633</b>	<b>123,300</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>120,220</b>	<b>88,906</b>

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社が2014年12月に実施したNIPPON PAINT (H. K.) COMPANY LIMITED等の連結子会社化に伴い計上しております商標権(その他の無形資産)について、従来、耐用年数を20年として償却しておりましたが、当商標権は高いブランド認知度を維持している等の実績を考慮して、償却期間を再検討した結果、当第1四半期連結累計期間より、耐用年数を確定できないものに変更しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において、商標権の償却費(販売費及び一般管理費)が574百万円減少しております。

なお、この変更に伴う影響はアジアセグメントに生じております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、塗料・コーティング事業として自動車用、汎用、工業用、ファイナケミカル及びその他塗料の製造・販売を、塗料周辺事業として接着剤等の塗料関連製品の製造・販売を主な事業としており、国内においては当社及び独立した法人が、海外においてはアジア、オセアニア、米州、その他の地域を独立した現地法人がそれぞれ担当しております。各法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「オセアニア」及び「米州」の4つを報告セグメントとしております。

「その他」の区分は、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。当該事業活動は個別に管理されているものの、当社グループにとって、独立したセグメントとして区分開示するほどの重要性はありません。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前第3四半期連結会計期間において、DULUXGROUP LIMITEDの全株式を取得し、同社及びその子会社42社を連結の範囲に含めたことにより、「オセアニア」を報告セグメントに追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき表示しております。

## (2) 報告セグメントごとの実績

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	日本	アジア	オセアニア	米州	小計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	43,843	82,484	—	17,514	143,842	3,517	147,359	—	147,359
セグメント間売上収益	6,218	859	—	45	7,123	207	7,330	△7,330	—
合 計	50,061	83,343	—	17,560	150,965	3,725	154,690	△7,330	147,359
セグメント利益又は損失 (△)	9,623	11,494	—	629	21,747	△92	21,654	△1,524	20,129
金融収益									946
金融費用									△976
持分法による投資利益									278
税引前四半期利益									20,378

(注) セグメント間売上収益及びセグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	日本	アジア	オセアニア	米州	小計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	40,081	62,361	31,826	17,645	151,915	11,001	162,916	—	162,916
セグメント間売上収益	6,637	1,009	1	25	7,674	177	7,851	△7,851	—
合 計	46,719	63,370	31,827	17,671	159,589	11,178	170,768	△7,851	162,916
セグメント利益	5,004	6,993	3,502	821	16,322	806	17,128	△1,894	15,234
金融収益									964
金融費用									△2,594
持分法による投資利益									389
税引前四半期利益									13,993

(注) セグメント間売上収益及びセグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものであります。

## (3) 製品及びサービスに関する情報

前第3四半期連結会計期間より、事業別の売上区分を「塗料・コーティング事業」と「塗料周辺事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の売上収益については、変更後の事業別の売上区分に基づき表示しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	オセアニア	米州	その他	合計
塗料・コーティング事業	43,843	82,484	—	17,514	3,517	147,359
自動車用塗料	11,933	16,490	—	6,741	3,249	38,414
汎用塗料	10,966	54,286	—	9,942	—	75,195
工業用塗料	9,990	6,509	—	—	101	16,601
ファインケミカル	2,163	1,465	—	793	162	4,585
その他塗料	8,788	3,733	—	36	4	12,563
塗料周辺事業	—	—	—	—	—	—
合 計	43,843	82,484	—	17,514	3,517	147,359

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	オセアニア	米州	その他	合計
塗料・コーティング事業	40,081	62,361	18,321	17,645	9,025	147,435
自動車用塗料	10,253	12,358	—	6,011	2,615	31,239
汎用塗料	10,259	40,514	17,048	10,879	5,182	83,884
工業用塗料	9,092	5,053	1,272	—	841	16,259
ファインケミカル	2,006	1,214	—	720	345	4,286
その他塗料	8,469	3,221	—	34	40	11,765
塗料周辺事業	—	—	13,505	—	1,975	15,480
合 計	40,081	62,361	31,826	17,645	11,001	162,916

(重要な後発事象)

当社は、手元流動性を確保するため、コミットメントラインの設定及び資金の借りに関して、下記のとおり契約を締結しております。

(1) コミットメントライン契約の内容

借入先	株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行
借入極度額	1,800億円
契約締結日	2020年4月10日
契約期間	1年間
担保・保証の有無	なし

(2) 借入の内容

借入先	株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社日本政策投資銀行
借入金総額	500億円
借入実行日	2020年4月15日、28日
支払金利	基準金利＋スプレッド
借入期間	1～2年間
変動・固定の区分	固定
返済方法	期日一括返済
担保・保証の有無	なし